



発行 白山社会学会 <http://www.geocities.com/College/16-6234> 事務局 〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 東洋大学社会法務部付  
郵便番号 〒00160-8-134254 白山社会学会 年会費 5000 円・学生会費 3000 円・入会費なし・寄付金控通

## 第 21 回 白山社会学会研究大会開催予定

日時：未定（12月の土曜日）  
会場：未定（白山）

## 第20回白山社会学会研究大会開催

白山社会学会第20回研究大会は、2002年12月21日（土）白山校舎1号館2階16階スカイホールにて、10:00より開催された。今大会は自由報告者の応募が多く、2会場に分けて行われた。

### 午前の部

<自由報告> 10:00 - 11:25

#### \*A会場

1. 横山 寿世理（東洋大学大学院）  
「ベルクソンに見る社会的自我と個人的自我の相補関係」
2. 原田 健一（東洋大学大学院）  
「映画論としての『パーソナル・インフルエンス』～メディア・イノベーション論からの再構成～」
3. 土屋 久（共立女子短期大学非常勤講師）  
「大正から昭和にかけての自我～沼波境音の言説を中心に～」

#### \*B会場

1. 大竹 信行（文教大学非常勤講師）  
「WohlとPolizei～ヘーゲルにおける二つの福祉概念」
2. 伊達 康博（東洋大学大学院）  
「情報社会における脱工業社会論」

<総会> 11:30 - 12:30

### 午後の部

<トークセッション> 14:00 - 17:30

#### \*テーマ

「東洋大学における社会学の未来を語る」

#### \*話題提供者

奥田道大（中央大学）、高橋直之（東洋大学）  
原 康（東洋大学）、広瀬英彦（東洋大学） 敬称略

#### \*コーディネーター

米林喜男（順天堂大学）、西山茂（東洋大学） 敬称略

※トークセッションの内容は『白山社会学研究』第11号に掲載。

<懇親会> 18:30 - 20:00 同会場にて

## 総会報告

2002年12月21日の大会時に第20回白山社会学会総会が開催された。

園田恭一会長の挨拶の後、田中豊治氏が議長に選出された。

新会長に古川孝順会員が選出された。

【活動経過報告】2001年12月～2002年11月

①3月2日、第4回児童館・学童保育関連卒業論文等発表会開催、②3月2日、第8回関東地区社会学・社会福祉学修士論文等発表会開催、③3月『白山社会学研究』第10号発行、④10月21日運営委員会、⑤4月1日『白山社会学会ニュースレター』第23号発行。

【会計報告】会員の方は同封別紙をご参照下さい。

#### 【活動計画】

①第5回児童館・学童保育関連卒業論文等発表会開催、②第9回 関東地区社会学・社会福祉学修士論文発表会開催、③『白山社会学研究』第10号発行・第11号編集、など。

#### 【役員人事】

<新任>

会長：古川孝順

運営委員：青木辰司、大畑裕嗣、片平潤彦、酒井出、須田木綿子、

企画：小林修一、会計：坂田伸子、監事：末成道男  
顧問：奥田道大、園田恭一、高橋直之、山手茂

運営事務局長：森田明美、運営事務局員：吉川かおり

査読委員：青木辰司、片平潤彦、須田木綿子

<辞退>

園田恭一（会長）、山手茂（副会長）、天野マキ（運営委員・企画・査読委員）、奥田道大・鈴木勲介・宮良貴弘（運営委員）、森田明美（会計）、清水浩昭（監事）、松本誠一（運営事務局長）、旭津一郎・酒井出・坂田伸子・城正子・中根圭・森田明美・山本正司（運営事務局員）

第9回関東地区  
社会学・社会福祉学 修士論文発表会

2003年3月1日(土)、10:00より第9回関東地区社会学・社会福祉学修士論文発表会が白山、雨水会館1階で開催された。発表者と発表題目は以下の通り。

<プログラム>

第1セッション 10:00～

司会：吉川かおり（東洋大学）

1. 山口佳

（東洋大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻）

「ソーシャルワーク・アセスメントを規定する要因～地域官宅介護支援センターの相談員への調査から」

2. 木谷雅彦

（東京都立大学大学院社会科学部研究科社会福祉学専攻）

「社会福祉援助における『実践的知識』の諸相～知的障害者施設の事例から」

3. 三橋真人

（上智大学大学院文学研究科社会学専攻）

「精神障害者のセルフヘルプグループの機能に関する研究～グループメンバーへのインタビュー調査を通して」

4. 岡部耕典

（東京都立大学大学院社会科学部研究科社会福祉学専攻）

「支援費制度・コンシューマリズム・アドボカシー～利用者個人の主体性とその権利を中心としたサービスシステムのために」

5. 今井伸

（大正大学大学院人間学研究科社会福祉学専攻）

「介護保険制度における低所得者施策の課題」

\*コメント

山手茂（新潟医療福祉大学） 佐藤豊道（東洋大学）

第2セッション 14:00～

司会：大畑 裕嗣（東洋大学）

1. 反町誠

（東洋大学大学院社会学研究科福祉社会システム専攻）

「精神保健福祉士養成課程の充実に向けて～相談事例からみた現場の課題を通して」

2. 石塚一茂

（東洋大学大学院社会学研究科福祉社会システム専攻）

「子ども・若者のこころの『居場所』に関する社会心理学的研究」

3. 井上寛

（流通経済大学大学院社会学研究科社会学専攻）

「移動の社会学的研究～障害者旅行を推進するために」

4. 本田亨

（東洋大学大学院社会学研究科社会学専攻）

「マザーズ会員の長・チーフウーマンへのインタビュー分析」

5. 佐々木啓

（東洋大学大学院社会学研究科社会学専攻）

「日常知のエスノメソッドロジー～Jクルター理論を中心に」

\*コメント

船津衛（東洋大学）

第5回

児童館・学童保育関連卒業論文・修士論文等発表会

第5回児童館・学童保育関連卒業論文等発表会が同じ3月1日(土)、10:45より17:00まで、白山、雨水会館2階で開催された。

\*白山社会学会、子どもと社会教育の会、NPO 法人「青少年ネット」との共催による。

<プログラム>

10:45～11:00 主催団体挨拶、オリエンテーション

\*A会場 メインテーマ

「子育て・子育て支援施策と児童館・学童保育」

第1部：児童館施策の今日的課題

座長：植木信一（県立新潟女子短期大学）

1. 森田明美ゼミナール

（東洋大学社会学部社会福祉学科）

「西東京市における児童館利用者調査からみる児童館施策の課題」

2. 田島克哉

（日本福祉大学大学院社会福祉学研究科）

「児童館における年長児童対応の実態と課題」

包括討議1

第2部：子どもの社会参画と子育て・子育て支援NPO

座長：立柳聡（福島県立医科大学）

1. 葛西学

（弘前大学人文学部社会システム課程）

「NPOの中間支援に関する研究～『子育て支援事業』を事例にして」

2. 高見啓一

（京都府女子大学大学院文化政策学研究科）

「子どもの手によるまちづくりと子育て支援NPO法人の設立～企画書構想」

3. 若林ちひろ

（東洋大学大学院社会学研究科福祉社会システム専攻）

「自治体子ども計画における子ども参加に関する研究」

包括討議2

B会場 メインテーマ

「児童館・学童保育の実践的課題」

第1部：児童館における「子どもの社会教育」実践

座長：深澤拓郎（法政大学）

1. 杉本幸美  
(法政大学社会学部)  
「なぜおとなは子どもに絵本を読むのか」
  2. 島田聡理  
(明治大学文学部史学地理学科)  
「飯能市美杉台児童館における社会教育事業～社会教育実習を通して」
  3. 星野一人  
(埼玉大学大学院教育学研究科学校教育専攻)  
「子どもの社会教育」実践研究序説～<こども～おとな>関係の組み替えは可能か？」
- 包括討議1

第II部： 地域社会形成と児童館の機軸  
 部長： 志濃原雅美 (埼玉純真女子短期大学)

1. 小和田賢三  
(明治大学文学部史学地理学科)  
「児童館運営と地域の教育力について～世田谷区上祖師谷ばる児童館での実習を通して」
2. 神木律子・菅原奈美  
(埼玉大学教育学部総合教育科学講座・岡幸江ゼミナール)  
「児童館と地域のつながりの可能性」

包括討議2  
 全体総括と挨拶 主催者代表

2003年3月をもって退職された先生方

社会学科	小林幸一郎先生
社会福祉学科	園田恭一先生
メディアコミュニケーション学科	高橋直之先生
メディアコミュニケーション学科	原 康先生
メディアコミュニケーション学科	広瀬英彦先生

会員の近著紹介

- ・園田恭一編『社会福祉とコミュニティー共生・共同・ネットワーク』東信堂、2003年3月22日発行  
 本書は園田先生の指導を受けた人たちが寄稿した論文集である。共同執筆者に、朝倉美江、寺田貴美代、加藤悦雄、井上修一、安留孝子、豊田保、李柄英、森川洋、山崎頌子、五十嵐恵子、伊藤正子、西村昌記、深谷太郎、永田文子の各氏。
- ・田中豊治『まちづくり組織社会学』良書普及会、2002年7月
- ・渡戸一郎・灰田康生・田嶋淳子編著『都市的世界: コミュニティ/エスコンティポストメトロポリス期の都市エスノグラフィ集』明石書店、2003年2月  
 本書は、奥田道大氏(中央大教授)の指導を受けた方々によって編集された奥田教授の退職記念の書である。

・鈴木幸寿・山本眞雄・茨城尚三編『歴史社会学とマックス・ヴェーバー上・下』理想社、2003年2月  
 本書は、「第1回日本ロードイフ社会学会議」に寄せられた報告集、あるいはその改稿集である。

学位

以下の通り本学から学位授与が行われた。

- 杉本貴代栄 博士(社会福祉学) 乙  
 「アメリカ貧困母子家庭政策の転換とその背景～ジェンダー視点による分析～」
- 全 龍彦 博士(社会福祉学) 乙  
 「老人保健・医療・福祉サービスの連携に関する韓・日比較研究」
- 坂田周一 博士(社会福祉学) 乙  
 「社会福祉における資源配分の研究」
- 牧野修也 博士(社会学) 甲  
 「農家後継者の『教育戦略』と農民学習運動～山形県庄内地方における1960-1970年代を中心として～」
- 伊藤正子 博士(社会福祉学) 甲  
 「非合法滞在外国人の医療問題と社会福祉援助～ソーシャルワーカーのアドボカシー・ネットワーク～」
- 孫 彰良 博士(社会福祉学) 甲  
 「社会サービス型NPOの新たな運営原理とその可能性～仏教慈済功徳会の事業分析を通して～」
- 西村昌記 博士(社会福祉学) 甲  
 「高齢期における自立した生活のための対応と支援」
- 五十嵐恵子 博士(社会福祉学) 甲  
 「家族介護者支援と社会福祉・労働政策～介護と就労の両立に向けた介護支援システム形成を目指して～」

関連団体の動向

3月21日(金)13:30から東洋大学大学院社会学研究科福祉社会システム専攻修了生の会<二季の会>による「春の集い」が以下のように開催された。

- 第I部 学習会 13:30～16:30(白田1208教室)
  1. 修士論文報告会(11期修了生)
  2. 創立5周年シンポジウム  
 「二季の会の今後を考える」  
 シンポジスト：大友信勝(東洋大学)  
 宮城道子(2期修了)  
 柳原大生(5期修了)
  3. 二季の会総会
- 第II部 11期修了生祝賀会および懇親会  
 17:30～20:00(スカイホール)

この催しは、同専攻がSemester制で、3月と9月に